平成２４年度第２回企業倫理委員会　議事概要

１．日　時　　平成２４年8月３０日（木）　１４：００～１６：００

２．場　所　　中国電力株式会社　本社１号館１２階特別会議室

３．出席者

（委員長）	山下　　隆	会長
（副委員長）	馬場　則行	弁護士
（副委員長・幹事）	松村　秀雄	常務取締役（ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門長）
（委　員）	今中　　亘	中國新聞社 特別顧問
	磯村　定夫	中国地域ニュービジネス協議会 常任顧問
	苅田　知英	社長
	白築　　透	中国電力労働組合執行委員長
（オブザーバー）	岩崎　恭久	常任監査役
（説明者）	藤井　弘昭	執行役員 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ･ﾘｽｸ管理部長 兼．原子力強化プロジェクト専任部長
	瀧本　夏彦	執行役員 経営企画部門 経営計画部長

４．議事要旨

【委員長あいさつ】

○　今夏の電力需給に関しては，これまでのところ大きなトラブルもなく，安定供給を確保してきた。引き続き，発電所の運転等に細心の注意を払い，安定して電気をお客さまにお届けできるよう，鋭意取り組んでいきたい。

　コンプライアンスの推進については，コンプライアンス最優先の意識の浸透を図るとともに，「責任ある業務遂行」「業務品質の向上」を重点課題として，種々の施策に取り組んでいるところである。

【１．コンプライアンス推進の取り組み状況について】

　島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況，コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

○　島根原子力発電所点検不備に対する再発防止対策は，計画に沿って着実に進められている。福島第一原子力発電所の事故以降，地域と電力会社が共生するという考え方がますます重要になっており，今後も清掃活動などの地元行事に参加することで，信頼関係の醸成につなげてほしい。

○　不適合管理については，引き続き，不具合情報を迷うことなく不適合判定検討会に報告し，原因を追究のうえ十分な対策を講じることで，Ａグレード・Ｂグレードに至るような事案が発生することのないよう努めてほしい。

○　「経営層が現場の声の吸い上げに努めているか」とのアンケート設問に対する中堅・若手社員の評価が低いことに関して，役員と発電所員との意見交換会を工夫するのもよいが，管理者が日頃から部下の意見を聴き，必要な事項を経営層にきちんと伝えていくことが大切と考える。

〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

○　コンプライアンス推進施策についても着実に実施されている。グループ企業において意識が浸透するためには中国電力がきめ細かく支援することが重要であり，連絡会議で情報共有を図るとともに，個別訪問で率直な意見交換を行って今後の支援策に活かしてほしい。

○　所属長業務点検で顕在化した課題に対しては，業務主管が考え方を明確に示し，社員の意識向上や業務運営ルールの徹底を図るべきである。

【２．内部通報制度の運用状況について】

平成２４年５月～７月における内部通報制度の運用状況について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

○　内部通報への対応は速やかに行われており，適切に運用されている。

○　些細な問題に関する相談もあるが，相談窓口が身近な存在になっている良い傾向であるので，引き続き，気軽に相談できる窓口として対応を続けてほしい。

（添付資料）

資　料　「コンプライアンス推進の取り組み状況について」

以　上